

マスメディアの役割

現在の健康ブームなどを作り出しているものは、マスメディアからの情報によるものが大きく、マスメディアは、世代に関係なく大きな影響力をもっています。より多くの市民に健康な生活習慣を選択してもらうために、地域のマスメディアは、行政と連携しながら生活習慣病に関するさまざまな情報提供、ストレス対策・健康づくりに関する連載などを行い、健康づくりの必要性や方法などの情報を積極的に提供する役割を担います。

県の役割

県の役割としては、健康づくり事業のコーディネーターとして、市町村や各機関の取り組みを推進するとともに市町村間の連携や広域的な事業を実施する必要があります。健康づくりに関する情報収集及び分析を行い、県民や市町村に提供するとともに「健康総社21～いきいき吉備路プラン～」の推進に対する支援を行う必要があります。

市の役割

市は、「健康総社21～いきいき吉備路プラン～」を市民運動として推進していくために、市民や関係団体等に計画を周知徹底していくとともに、相互の連携体制を構築していきます。さらに、周知徹底を進めていくなかで行政内部の関係機関と連携し、生活習慣を改善し健康づくりに取り組もうとする個人を、社会全体で支援していく環境を整えていきます。個人が自らの生活習慣を見直し、より健康的な生活習慣を選択するためには、適切な情報が十分に提供されることが基本となります。住民に身近な機関として健康づくりサービスの提供を行い、健康情報の提供の場となる健康教育、健康相談や健診、事後指導等の保健事業を充実強化していきます。

また、健康関連の自主グループやボランティア活動の支援、公民館活動等との連携、施設の整備などを行い、健康づくりへの関心を高め主体的に取り組む環境を整えていきます。

健康総社21～いきいき吉備路プラン～推進連絡協議会の設置

「健康総社21～いきいき吉備路プラン～」の実施及び達成状況の把握・評価・検討等を行う中心的機関として「健康総社21～いきいき吉備路プラン～推進連絡協議会」を設置します。市民の声や地域の特性を十分踏まえ、健康づくり運動を効果的に推進していきます。